

# 保健管理センター

## 1 構 成 員

	平成 27 年 3 月 31 日現在	
教授	0 人	
准教授	0 人	
講師（うち病院籍）	1 人	(0 人)
助教（うち病院籍）	0 人	(0 人)
特任教員（特任教授、特任准教授、特任助教を含む）	0 人	
医員	0 人	
研修医	0 人	
特任研究員	0 人	
大学院学生（うち他講座から）	0 人	(0 人)
研究生	0 人	
外国人客員研究員	0 人	
技術職員（教務職員を含む）	1 人	
その他（技術補佐員等）	0 人	
合計	2 人	

## 2 教員の異動状況

橋本 大（講師）（H22.3.1～H27.3.31 退職）

## 3 研究業績

数字は小数 2 位まで。

	平成 26 年度	
(1) 原著論文数（うち邦文のもの）	4 編	(0 編)
そのインパクトファクターの合計	12.30	
(2) 論文形式のプロシーディングズ及びレター	0 編	
そのインパクトファクターの合計	0.00	
(3) 総説数（うち邦文のもの）	0 編	(0 編)
そのインパクトファクターの合計	0.00	
(4) 著書数（うち邦文のもの）	0 編	(0 編)
(5) 症例報告数（うち邦文のもの）	1 編	(0 編)
そのインパクトファクターの合計	1.70	

### (1) 原著論文（当該教室所属の者に下線）

- A. 筆頭著者が浜松医科大学の当該教室に所属していたもの
- B. 筆頭著者が浜松医科大学の他教室に所属し、共著者が当該教室に所属していたもの（学内の共同研究）
  1. Kono M, Nakamura Y, Enomoto N, Hashimoto D, Fujisawa T, Inui N, Maekawa M, Suda T, Colby TV, Chida K : Usual interstitial pneumonia preceding collagen vascular disease: a retrospective

case control study of patients initially diagnosed with idiopathic pulmonary fibrosis, PLoS One, 15;9(4):e94775, 2014 年. 【呼吸器】 【 3.534 】

2. Enomoto N, Kusagaya H, Oyama Y, Kono M, Kaida Y, Kuroishi S, Hashimoto D, Fujisawa T, Yokomura K, Inui N, Nakamura Y, Suda T : Quantitative analysis of lung elastic fibers in idiopathic pleuroparenchymal fibroelastosis (IPPF): comparison of clinical, radiological, and pathological findings with those of idiopathic pulmonary fibrosis (IPF), BMC Pulm Med, 28;14:91. doi: 10.1186/1471-2466-14-91, 2014 年. 【呼吸器】 【 2.489 】
3. Fujisawa T, Hozumi H, Kono M, Enomoto N, Hashimoto D, Nakamura Y, Inui N, Yokomura K, Koshimizu N, Toyoshima M, Shirai T, Yasuda K, Hayakawa H, Suda T : Prognostic factors for myositis-associated interstitial lung disease, PLoS One, 6;9(6):e98824, 2014 年. 【呼吸器】 【 3.534 】
4. Kato M, Fujisawa T, Hashimoto D, Kono M, Enomoto N, Nakamura Y, Inui N, Hamada E, Miyazaki O, Kurashita S, Maekawa M, Suda T : Plasma connective tissue growth factor levels as potential biomarkers of airway obstruction in patients with asthma, Ann Allergy Asthma Immunol, 113(3):295-300, 2014 年. 【呼吸器】 【 2.746 】

インパクトファクターの小計 [ 12.303 ]

C. 筆頭著者が浜松医科大学以外の教室に所属し、共著者が当該教室に所属していたもの

(2-1) 論文形式のプロシーディングズ

(2-2) レター

(3) 総説

(4) 著書

(5) 症例報告

1. Furuhashi K, Enomoto N, Fujisawa T, Hashimoto D, Inui N, Nakamura Y, Suda T : Hermansky-Pudlak syndrome with nonspecific interstitial pneumonia, Intern Med, 53(5), 449-53, 2014 年. 【呼吸器】 【 1.699 】

4 特許等の出願状況

5 医学研究費取得状況

	平成 26 年度
(1) 文部科学省科学研究費	1 件 ( 90 万円)

6 新学術研究などの大型プロジェクトの代表, 総括

## 7 学会活動

	国際学会	国内学会
(3) 学会座長回数	0 件	1 件

(2) 国内学会の開催・参加

4) 座長をした学会名 第 224 回日本内科学会東海地方会 呼吸器 3 2014 年 11 月 名古屋

## 8 学術雑誌の編集への貢献

## 9 共同研究の実施状況

## 10 産学共同研究

## 11 受 賞

## 12 研究プロジェクト及びこの期間中の研究成果概要

## 13 この期間中の特筆すべき業績，新技術の開発

## 14 研究の独創性，国際性，継続性，応用性

## 15 新聞，雑誌等による報道